

## 鳥栖警察署協議会開催結果の概要

令和8年3月24日

会 議	令和7年度 第3回 鳥栖警察署協議会
開催日時	令和8年2月18日（水） 15：00 ～ 17：00
開催場所	鳥栖警察署 会議室
出席者	○ 協議会：会長以下12名 ○ 警察署：署長以下12名 計24名
議 事 概 要	
<b>1 開会</b>	
<b>2 会長挨拶</b> 新年に入り、ふた月が過ぎようとしておりますが、警察の方々におかれましては、新年早々衆議院議員総選挙の取締りや要人警護に従事され、大変な御苦労があったと察します。 また、昨年中、全国で特殊詐欺が増加し、鳥栖警察署管内では交通死亡事故も2件発生して、2名の方が犠牲になったと聞き及んでおります。 これら事件・事故や犯罪への対応は、警察だけで到底なされるべきものではなく、地域社会全体が警察や自治体などと連携し、それぞれの能力を発揮してこそ実現できるものと考えております。 本日は、各委員が警察の助けとなるよう、忌憚のない御意見を賜りたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。	
<b>3 署長挨拶</b> 昨年治安情勢を振り返りますと、まず、詐欺被害の急増が挙げられます。 県内における令和7年中のニセ電話詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害額は24億円を超えており、当署管内でも件数や被害額は高止まりのまま危機的状況にあります。 また、交通事故に関しても県内及び管内ともに人身事故件数はなんとか減少傾向で推移しているものの依然として事故によりお亡くなりになる方は後を絶ちません。 令和8年も引き続き署員一丸となって、各種治安対策を講じながら管内の安全安心の確保に努めてまいります。 本日は、前回の諮問に対する答申をいただくとともに、協議会終了後、ニセ電話詐欺の発生状況と実際の現場を想定した被害防止対策について、視察していただく予定ですので、どうぞよろしく申し上げます。	
<b>4 議事</b> (1) 答申 第2回協議会において諮問を受けた「外国人等との共生社会の実現に向けた取組」について、会長が、 これまで鳥栖警察署が取り組まれていた ○ 外国人向け防犯・交通安全教室の開催 ○ 多言語による防犯情報の発信	

○ 留学生・技能実習生・企業担当者との意見交換  
○ 行政機関・地域団体との連携強化  
を継続するとともに、  
○ 外国人が通う学校や就労する企業等と幅広く連携し、日本で生活するにおいて守るべき基本的なルールを理解できる取組をお願いしたい  
○ 外国人を取り扱う関係機関等との情報共有を図っていただき、日本での生活に不安を抱く外国人への相談対応をお願いしたい  
○ 地域と行政が一体となり、外国人が積極的に参加できる環境を作っていただき、事件・事故や傷病者の発見、遭遇時の初期対応を理解できる取組をお願いしたい  
○ 鳥栖警察署管内で生活する多くの外国人が利用する自転車の運転マナーの向上方針として、交通指導取締りをはじめ、あらゆる機会を通じた交通教育をお願いしたい  
と考えており、これまで鳥栖警察署が取り組まれている活動をより強力に推進していただきたい旨の答申を行った。

## (2) 概況説明

ア 刑事第一課～刑法犯認知・検挙状況、検挙事例  
イ 刑事第二課～特殊詐欺認知状況、SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況、検挙事例  
ウ 生活安全課～犯罪抑止対策、検挙事例、関係機関との連携  
エ 交通課～交通事故の発生状況、自転車が関係する交通事故の発生状況、高齢者が関係する交通事故の発生状況、飲酒絡み交通事故の発生と飲酒運転違反検挙、横断歩行者妨害等の検挙状況、自主返納状況  
オ 警備課～オウム事件風化防止対策、北朝鮮人権侵害問題啓発週間における広報活動、衆議院議員総選挙に伴う要人警護

## (3) 質疑応答

委員： 社長を騙って事務員に現金を振り込ませる詐欺の手口を聞いたが、前から発生しているのか。  
警察： 平成28年頃から見られる手口である。  
委員： 高校生の子どもが自転車を使用しているが、車両と同じ交通ルールを把握しておらず、チラシ等の配布状況について教えてほしい。  
警察： 各学校に配布している。交通教室なども実施しているが、標識などを子ども達に理解してもらうのは難しいため、学校以外の自治体や家族でも学習をお願いしたい。  
委員： 自転車通学をしている高校生のヘルメット着用が低調だと思う。  
警察： 福岡県の県立高校では義務化されている。大人が模範となつて、ヘルメットを着用していただきたい。  
委員： 追突事故が多いようなので、渋滞の解消ができるような信号等の検討をお願いしたい。  
委員： 児童に対する声掛けなどはどう対応しているのか。  
警察： 学校と連携して対応している。

## 5 閉会

## 6 その他

ニセ電話詐欺の被害者が金融機関を来訪する想定で、金融機関や警察官の対応状況を視察